

平成30年度守谷市自治会連絡協議会第3回代議員会

○日 時 平成30年11月9日（金）
午後6時00分～午後6時39分

○開催場所 守谷市役所 中会議室

○出席者 ・自治会連絡協議会代議員（代議員15名）
・市民協働推進課職員（3名）

○協議事項（1）主要活動事項進捗状況等について（報告）

第2回代議員会で決定した今年度の主要活動事項の進捗状況について、事務局から状況報告を行った。

①「花いっぱい運動の呼びかけ」について

- 花いっぱい運動に関するチラシを9月25日に全戸回覧として配布した。
- チラシには、前回の代議員会でご指摘いただいた「10年継続団体への表彰」を追記した。
- 回覧配布後、メール・電話での問合せが3件あった。問合せ内容は、事業内容に関する問合せや、市の助成と県の助成の併用に関する問合せであった。
- ホームページ内の自治会・町内会への助成に関するページに、「公園里親事業」（建設課所管のページ）をリンクさせた。

②「道路愛称設定プロジェクト」について

- これまでの正副会長会での協議、代議員会での協議、関係各課との協議を基に、事務局で企画書案を作成した。あくまで案としての企画書であり、この内容で実施するものではない。
- 事業概要は、市民公募により市内の主要道路に愛称を設定するものである。
- 道路に愛称を設定することで、市内の場所の特定が容易になるだけでなく、当該道路に愛着・親しみが出ることを目的としている。
- 実施内容としては、①市民からの募集により愛称を設定する。②設定に当たってのルールを作成する。③愛称看板を当該道路に設置する。④地図へ名称を落とし込む。と言った内容を考えている。
- ①「市民からの募集により愛称を設定する」については、ネーミングライツの活用など、企業に対し協賛を求めるものではなく、市民公募をメインに考えたものとなっている。また、他市の事例では、「市制施行記念」や「路

線開通記念」等で実施されていることが多い。

- ②「設定に当たってのルール作成」については、脈絡なく愛称を設定することが、事務の煩雑化となるだけでなく、愛着が湧くかどうか疑問があることから、路線の幅員や延長等のルールを設けたいと考えた。なお、自治会連絡協議会が6支部に分かれていることから、各支部1路線を目安に6路線を設定できればと考えた。
- ③「愛称看板の設置」は、看板を設置することで愛称認知度が高まり、また、場所の特定が容易になることが期待できる。
- ④「地図への落とし込み」は、市役所関連で発行している各種地図への掲載を、当該地図の更新時期に併せて実施できればと考えた。
- 事業スキームとしては、①「自治会連絡協議会が主体となり、関係各課に協力を求め実施する計画」と、②「自治会連絡協議会からの提案として、市に対し企画書を提出する計画」が考えられる。
- ①の場合（自治会連絡協議会が主体となる場合）は、自治会連絡協議会の継続事業として、来年度以降も継続して取り組むことになるが、代議員の多くが1年交代のため新体制で実施しなければならないという懸念がある。
- ②の場合（自治会連絡協議会からの企画書提出の場合）は、昨年度実施した「提言書の提出」と似たような形になる。
- 細かな懸念事項は他にも様々考えられるが、①での実施・②での実施いずれにしても、今年度は残り5カ月をきっているので、その点を踏まえてどのような事業スキームで実施に当たるかを考えなければならない。

《質疑・意見等》

（代議員）地区単位で愛称を設定する場合、区長が1年交代のため、実施がなかなか難しいと思う。また、総会等で皆の意向を確認する必要もあり、区長1人では決められない。自治会活動に積極的な区長もいれば、消極的な区長もいる。来年度以降の継続事業として実施する場合は、各自治会の総会等での合意形成が必要と考える。

（会長）自治会単位での事業ではなく、市の事業の1つとして考え、市が学校等へ募集を依頼し、子ども達に参加させるようなしくみにすれば、スムーズに進むかもしれない。

（代議員）坂町清水線という名前はよく知られていると思う。また、坂町清水線はいくつかの町内会をまたがって通っているので、愛称をつけるのであれば、地域全体の特徴を考えないと決めることは難しいと思う。

（会長）地域に問いかけた結果、愛称としても「坂町清水線」という名前で良い

ということになれば、そのままでいいと思う。国道294号も愛称ではなく路線名そのままである。

（代議員）子ども達が愛称をつけるというのは、発想としてよいと思う。

（代議員）新守谷駅から延びる通りは、大きくて立派な通りなのに名前が無い（※正式名称は市道102号線）。広くて大きい通りに名前を付けるのは良いと前から思っていた。ただし、道路は距離があるものなので、地域のランドマークに合わせて愛称をつけるというやり方もあるし、例えば街路樹等をモチーフにネーミングをつけるなど、手法・やり方は様々あると思う。プロジェクトする場合は、住んでいる人達がイメージできる通り（名称）が分かりやすくいいと思う。

（会長）例えば、北園交差点からアサヒビール工場に向けて延びる通りにはサルスベリの木が植えられているので、樹木の名前というのも案の1つとして考えられる。または、アサヒビールの名前を付けてよいかは別としても、アサヒビールの名前を付けることも案の1つとして考えられる。

（代議員）今年度の活動事項として、「花いっぱい運動」と「道路愛称プロジェクト」を進めようと決定した。花いっぱい運動は回覧文書を配布し事業をスタートさせた。道路愛称プロジェクトについては、道路がたくさんあり、複数年にまたがってしまうのは仕方ないのが、とりあえず今年度中に各地区1路線の6路線くらいを実施しなければ、事業スタートにならないのでは。守谷地区内の代表的な道路を知ることが良いことだが、基本的には地域密着であると思う。地域の方が認知するために実施するのであれば、地元の一番通る道路・路線を募集して決定していくのがよい。なお、郷州沼崎線は地域ごとに区切ってもよいと思う。現在みずき野は、けやき通りといちょう通りがある。バスの停留所にもなっており、地元では認知されている。国土交通省関連の地図に記載する訳でなく、守谷市としての愛称の話なので、大げさに考えないで、認知されている場所から地図に落とし込んでいけばいいのでは。今年度の自治会連絡協議会の事業としてスタートし、方向性を決めておかないと、来年度に申し送りしても進まないと思う。今年度ある程度実施し、来年度以降は路線を追加していったほしいという流れであれば、次年度以降はある程度楽に実施できるのではないか。このままでは花いっぱい運動に対し、道路愛称プロジェクトが何もしないように見えてしまう。

（代議員）数多く設定しても意味が無くなってしまうかもしれない。主要道路に絞ってもよいのでは。

（会長）皆さんの意見としては、愛称を設定することについては特に問題ないよ

うだが、どのように設定するか、地域ごとに分けて設定するか、道路を1本として設定するのか、かなり議論しないと結論は出ないと思う。今期中で実施するには、今後かなり詰めて協議を行わなければならない。案としては、今期中にそれぞれの地域で実施する案と、企画書を提出して市に実施を検討してもらう案になると思う。来年度の継続事業としても、次年度以降の代議員がこの案を良しとして実施してくれるか分からない。市に提案した場合、何人かは来年度も継続して代議員に残ると思うので、提案後の追跡はできると思う。そのような観点で考えれば、市に対して企画書を提出する案でも良いと思う。

（代議員）地区によって呼び方が違うのは良くないのでは。道路の始点と終点を基準に考えた方がよい。

（代議員）今日時間がない中で、どういう方向性にするかは結論が出ないと思うので、一度持ち帰って、次回協議するというのではどうか。

（代議員）1路線で考えるのか、地域で区分けして考えるのかという方向性は今日決められるのではないか。

（代議員）ある程度の方向性を決めないと、来年度に継続した場合、新しい区長たちが困惑するのではないか。

（会長）1路線で考えるのか、地区ごとに分けて考えるのかは、皆さんそれぞれの意見もあり、今日すぐには結論づけられないと思う。

（代議員）次回への宿題という理解でよいか。

（会長）次回に、本日の課題等を一度持ち帰り、次回に協議するという風にしたと思うが皆さんいかがが。

⇒異議なし。（次回の検討事項とする。）

○協議事項（2）その他

（代議員）自治会未加入者が多くなってきており、特にごみ出しやごみ置き場が問題となっている。自治会への加入促進の一つとして、条例等を制定して、自治会に加入してもらうようにはできないか。

（会長）条例にすると、場合によっては強制にもなってしまい、判例等もあり難しい。

【閉会】